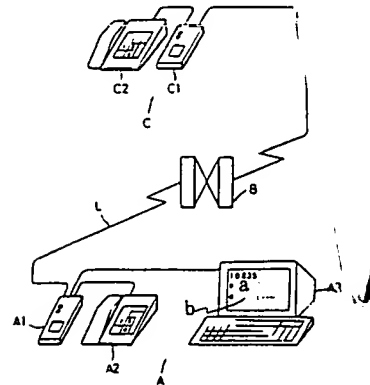


**(54) CALLING SYSTEM**

(11) 2-207645 (A) (43) 17.3.1990 (19) JP  
 (21) Appl. No. 64-28419 (22) 7.2.1989  
 (71) CASIO COMPUT CO LTD (72) KAZUHIRO OISHI  
 (51) Int. Cl.<sup>3</sup> H04M1/276

**PURPOSE:** To call a prescribed communication equipment with one touch operation by setting the telephone number of the prescribed calling device to be preset to a transmitting means and the identification number of the calling device itself by using the arbitrary calling device.

**CONSTITUTION:** A calling device A set in a hired car company side is equipped with a transmitter A1, telephone set A2 and personal computer A3. The transmitter A1 receives the telephone number from a calling device C in a customer side, connects the number to the telephone set A2 and outputs the customer identification No to the personal computer A3. In the personal computer A3, data such as a customer name, address and route, etc., are stored by customers in correspondence to the ID No. When the ID No is inputted from the customer side, the data corresponding to the ID No are displayed. In a transmitter C1 in the customer side, the telephone number of the telephone set A2 in the hired car company side and the ID No of the transmitter C1 itself are preset and the telephone number of this telephone set A2 and the ID No of the transmitter itself are transmitted with one operation. Thus, the exclusive transmitter can be realized to call the prescribed calling device with one operation.



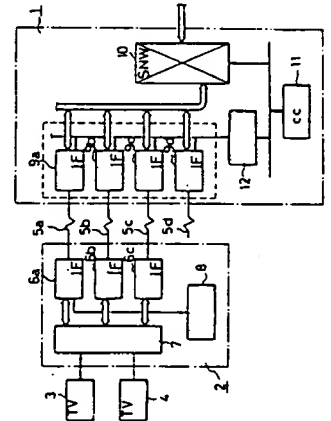
a: Taro Tsuchida (Chinese character), b: Tokyo-to (Chinese character)

**(54) WIDE BAND TERMINAL HOUSING SYSTEM**

(11) 2-207646 (A) (43) 17.8.1990 (19) JP  
 (21) Appl. No. 64-27681 (22) 8.2.1989  
 (71) TOSHIBA CORP(1) (72) MASAJI KONNO(1)  
 (51) Int. Cl.<sup>3</sup> H04M3/00

**PURPOSE:** To efficiently realize wide band service by respectively designating an information channel in a communication line and an information channel in the other communication line to a wide band terminal, which needs the plural information channels, by using one control channel in the plural communication lines and executing call setting.

**CONSTITUTION:** A wide band terminal 2 is connected through three communication lines out of communication lines 5a-5d, ... with basic speed access type (2B+D) channel structure, which is regulated by CCITT recommendation, to a digital exchange 1. A call control circuit 8 connected to a line interface 6a communicates the control information of the call setting for executing the communication of a picture signal respectively using the information channel (B) of the three communication lines 5a-5c with the digital exchange 1 through the control channel (D) of the communication line 5a. Thus, the wide band terminal can be housed by using plural basic interfaces and housing efficiency is improved. Then, the digital exchange system of high economicity can be realized.



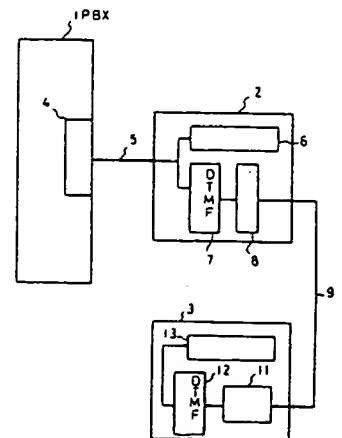
3: TV camera, 4: TV monitor, 7: picture cord, 6a-6c, 9a-9d: line IF, 12: signal processing circuit

**(54) FAULT DISPLAY SYSTEM FOR ELECTRONIC EQUIPMENT**

(11) 2-207647 (A) (43) 17.8.1990 (19) JP  
 (21) Appl. No. 64-29119 (22) 8.2.1989  
 (71) TOSHIBA CORP (72) HIROAKI YAMASHITA  
 (51) Int. Cl.<sup>3</sup> H04M3/10

**PURPOSE:** To set a display device distant from an electronic equipment, informing a fault of a maintenance staff, etc., without fail and to execute a speedy countermeasure by sending a correspondent DTMF signal based on a detected result to the fault of the electronic equipment and executing correspondent display based on the received DTMF signal.

**CONSTITUTION:** A fault decision part 4 executes the detection of service interruption, etc., and sends correspondent information and power supply to a display device 2. The display device 2 is set comparatively near a PBX 1 and a DTMF signal sending part 7 outputs the DTMF signal of a prescribed mixed frequency in correspondence to the fault information. A display device 3 is set in a place enough distant from the PBX 1 and a DTMF signal reception part 12 is equipped with discrimination function. Then, it is detected which two frequencies are coupled. After that, the correspondent output is given to a display part 13. Thus, the electronic equipment and display device can be arranged with a distance in between and thus, the fault can be informed of the maintenance staff without fail. Then, the speedy countermeasure can be executed.



6: display part, 8: transmission part, 11: reception part

資料3号

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平2-207645

⑬ Int. Cl.

H 04 M 1/276

識別記号

庁内整理番号

7117-5K

⑭ 公開 平成2年(1990)8月17日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全1頁)

⑮ 発明の名称 通話システム

⑯ 特 願 平1-28419

⑰ 出 願 平1(1989)2月7日

(A)10000640001



⑱ 発 明 者 大 石 和 弘

東京都西多摩郡羽村町栄町3丁目2番1号 カシオ計算機株式会社羽村技術センター内

⑲ 出 願 人 カシオ計算機株式会社

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号

⑳ 代 理 人 弁理士 町田 俊正

明 細 書

1. 発明の名称

通話システム

2. 特許請求の範囲

所定の通話装置の電話番号と自己の識別番号を  
予め記憶する記憶媒体を有し、ワンタッチ操作に  
より、公衆回線を介して、上記記憶媒体内の電話  
番号を伝送して上記所定の通話装置をコールした  
後に当該通話装置に上記自己の識別番号を伝送す  
る伝送手段を複数有する通話システムであって、

上記各伝送手段は、

所定のモードの下で、上記公衆回線を介して伝  
送された上記所定通話装置の電話番号と自己の識  
別番号を上記記憶媒体に蓄込む蓄込手段を備えた  
ことを特徴とする通話システム。

3. 発明の詳細な説明

〔本発明の利用分野〕

この発明は、所定の通話装置に対して自己の識別番号をワンタッチで伝送する伝送手段を有する通話システムに関する。

〔発明の概要〕

この発明は、上記のような通話システムを構築する際、伝送手段にプリセットすべき上記所定の通話装置の電話番号と上記自己の識別番号を、任意の通話装置を用いてセットすることにより、簡単にシステムを構築できるようにしたものである。

〔従来の技術〕

従来、例えば、飲食店、個人等がハイヤーを依頼するときは、その都度、ハイヤー会社の電話番号を電話して電話をかけ、自己(顧客)の住所、道順等を教えていた。

しかし、一々、ハイヤー会社の電話番号を電話したり、住所、道順等を教えるのは、顧客にとって面倒であった。

そこで、顧客は、ダイヤルメモリ機能を有する

特開平2-207645(2)

電話機に、所定のフッシュボタンと対応させてハイヤー会社の電話番号をプリセットしておき、上記所定のフッシュボタンのワンタッチ操作でコールするようにしていた。

〔発明が解決しようとする課題〕

しかし、上記の場合、ハイヤー会社側から見ると、ハイヤー会社の電話番号のプリセットが顧客側で自由に行われ、自社が選択されるとは限らない。

そこで、ハイヤー会社では、自社の電話機をワンタッチ操作でコールできる専用の伝送装置を顧客側に設置することにより、自社を専ら利用するよう仕向け、かつ、顧客がダイヤルメモリ機能を有する電話機を購入しなくてもよく、また、ダイヤルメモリ機能を有する電話機を既に購入済みであれば、顧客による電話番号のプリセットの手間を省き、顧客獲得、及び顧客へのサービス向上を図ることが考えられる。

この場合、ハイヤー会社の電話番号と、顧客を

識別して送達率を確認するために利用する顧客の識別番号を記憶させたROMを、上記伝送装置へ送込むことが考えられる。

しかし、ROMを活用した場合には、各ROMに書き込むべき識別番号は顧客ごとに異なるため、データ内容(識別番号)の異なるROMを顧客数分用意して、各々別々の伝送装置に送込む必要があり、システムの構築が面倒であるとともに、コスト高になってしまう。

これは、顧客側に設置した伝送装置に、ハイヤー会社からのデータ伝送により自社の電話番号と顧客の識別番号をプリセットできないことに起因するものと考えられる。

この発明の課題は、所定の送達装置をワンタッチ操作でコールできる専用の伝送装置を実現すると共に、この伝送装置に、コールされる側からのデータ伝送により自己の電話番号と顧客の識別番号をプリセットできるようにすることである。

〔課題を解決するための手段〕

この発明の手段は次の通りである。

この通信システムは、記憶媒体a1、及び書込手段a2を内蔵した複数の伝送手段aと、公衆回線と、所定の通話装置bを備えている。

各伝送手段a内の記憶媒体a1(第1図の機能ブロック図を参照、以下同じ)は、所定の通話装置bの電話番号と自己の識別番号を予め記憶する。

伝送手段aは、ワンタッチ操作により、公衆回線を介して、記憶媒体a1内の電話番号を伝送して所定の通話装置bをコールした後に当該通話装置bに上記自己の識別番号を伝送する。

各伝送手段a内の書込手段a2は、所定のモードの下で、公衆回線を介して伝送された所定の通話装置bの電話番号と自己の識別番号を記憶媒体a1に書き込む。

〔作用〕

この発明の手段の作用は次の通りである。

今、例えば、ハイヤー会社が、飲食店、個人等の複数の顧客側に、その顧客側の通話装置と接続

する形で伝送手段aを設置し、この伝送手段aに自社の電話番号と、顧客識別番号をプリセットしたい場合、任意の通話装置(所定の通話装置でも良い)を用いて、顧客側に設置した伝送装置aに接続された通話装置bをコールして回線を接続させ、所定モードに切替えて、自社の通話装置bの電話番号と顧客の識別番号を公衆回線を介して伝送する。

そうすると、顧客側に設置された伝送手段aの書込手段a2は、公衆回線を介してハイヤー会社側から伝送されたハイヤー会社の通話装置bの電話番号と自己の識別番号を記憶媒体a1に書き込む。

このような書き込みが行われた後に、顧客側がハイヤー会社側にハイヤーを依頼するときは、例えば、伝送装置の所定キーをワンタッチ操作するだけで、書き込まれたハイヤー会社の通話装置bの電話番号と自己の識別番号が伝送される。そして、伝送された電話番号によりハイヤー会社の通話装置bがコールされる。

特開平2-207645(3)

従って、所定の通話装置をワンタッチ操作でコールできる専用の伝送装置を実現すると共に、この伝送装置に、コールされる側からのデータ伝送により自己の電話番号と顧客の識別番号をプリセットできる

【実施例】

以下、一実施例を第2図ないし第6図を参照しながら説明する。

第2図は、通話システムのシステム構成図であり、ハイヤー会社側に設置された通話装置Aと、公衆回線交換機Bと、顧客別に設置された通話装置Cとが公衆回線により接続されている。なお、第2図では、顧客別の通話装置Cは1顧客分のみを図示しているが、実際には、顧客別に複数台設置されている。

ハイヤー会社側に設置された通話装置Aは、伝送装置A1、電話機A2、パソコンA3を有している。

伝送装置A1は、顧客側の通話装置Cからの電

話番号を受信して電話機A2に接続すると共に、顧客側の通話装置Cからの顧客識別地（以下、ID地と呼ぶ）をパソコンA3に出力する。

電話機A2は、伝送装置A1からの電話番号に基づいてコール音を発音し、そのコール音により通話装置A2が取り上げられると、顧客側の通話装置Cとの間での通話が可能となる。

パソコンA3には、ID地と対応して顧客名、住所、通順等のデータが顧客別に記憶されており、伝送装置A1を介して顧客側からのID地が入力されると、表示画面に示したように、そのID地に対応した顧客名、住所、通順等を表示する。従って、この表示画面を見ることにより、電話機A2では、顧客名、住所、通順等を尋ねる必要はなく、何台のハイヤーを差し向ければ良いか等のみを尋ねれば良い。

顧客側の通話装置Cは、伝送装置C1、電話機C2を有している。

顧客側の伝送装置C1には、ハイヤー会社側の電話機A2の電話番号と、自己のID地がプリセ

ットされ、この電話機A2の電話番号と、自己のID地をワンタッチ操作により伝送する。

ハイヤー会社側の伝送装置A1と顧客側の伝送装置C1とは、同様の構成であり、第3図に示すように、制御部1、CPU2、EEPROM3、PB受信部4、PB発信部5、DP発信部6、発信中LED7、話し中LED8、発信キーK1、データセットキーK2、バッファBu、PB/D設定スイッチSWを有している。

制御部1は、公衆回線交換機Bを駆動して電話番号を送出し、自己と相手方との間で公衆回線を確立する、データの送受信を行う等の制御を行う。

顧客側の伝送装置C1のCPU2は、データセットキーK2によりデータセットモードが設定されているときに、ハイヤー会社側の電話機A2の電話番号と、自己のID地を受信すると、それらをバッファBuに一旦格納し、所定の区切コードを送出することにより、EEPROM3に格納する。また、顧客側のCPU2は、発信キーK1が

操作されると、顧客側のEEPROM3に格納された上記電話番号と自己のID地を、制御部1を介して発信する。さらに、顧客側のCPU2は、電話番号を発信しているときは発信中LED6を点灯し、相手が話し中であるときは話し中LED7を点灯する。

PB受信部4、PB発信部5は、高低2周波のプッシュボタン信号（PB信号）に対応するもので、ハイヤー会社からのPB信号によるプリセットデータ（電話番号とID地）は、PB受信部4により受信され、コードデータに変換されてCPU2に出力される。また、PB発信部5は、CPU2からのコード形式の電話番号等を、高低2周波のPB信号に変換して発信する。

DP発信部6は、CPU2からのコード形式の電話番号等を、ダイヤルパルス信号（DP信号）に変換して発信する。

PB/D設定スイッチSWは、加入時に選択された外付交換機B1のタイプが、プッシュボタン用であればPB側に固定的にセットし、ダイヤ

特開平2-207645(4)

ルバルス用であればDP側に固定的にセットしておく。そして、PB側に固定的にセットした場合は、PB発信部5を介してデータ発信が行われ、DP側にセットした場合は、DP発信部6を介してデータ発信が行われる。

次に、第4図ないし第6図を参照しながら実施例の動作を説明する。

ハイヤー会社側から自社の電話番号A2の電話番号と、顧客のIDをプリセットするときは、第4図に示したように、公衆回線Lに接続された顧客側の伝送装置C1に音声同相波を用いて直接プリセットするため、パッシュボタン式の電話機A2aを用いる。なお、パッシュボタン式であれば、任意の電話機A2aで良い。

まず、パッシュボタン式の任意の電話機A2aにより、顧客側の電話機C2をコールして回線を接続させ、これから上記プリセットを行う旨を伝えて、データセットキーK2をオンさせてデータセットモードを設定させる。そして、パッシュボタンにより、自社の電話番号A2の電話番号、顧客

のIDを、チェックディジットをパッシュボタンにより順次入力する。この際、#ボタンにより上記各種データ区切って入力する。

次に、顧客側のプリセット処理を第5図を参照しながら説明する。

顧客側の伝送装置C1のCPU2は、発信キーK1のオン/オフを判断し(ステップS1)、発信キーK1がオンであれば、所定の発信処理を実行して(ステップS2)、ステップS1に戻る。

一方、発信キーK1がオフであれば、データセットキーK2の操作のオン/オフを判断し(ステップS3)、オフであればステップS1に戻る。

一方、データセットキーK2がオンでありデータセットモードが設定されておれば、ハイヤー会社側から伝送されたプリセット用データを順次バッファBuに格納し(ステップS4)、#ボタン対応の#コード(区切コード)をバッファBuに格納(受信)したか否かを判断する(ステップS5)。その結果、#コードを受信していないときは、ステップS4に戻って受信データのバッファ

Buへの格納処理を継続する。

一方、#コードを受信したときは、バッファBu内の#コードより前のデータ、すなわち、ハイヤー会社の電話番号をEEPROM3に書き込み、バッファBu内のデータをクリアする(ステップS6)。

そして、更に、伝送されたプリセット用データを順次バッファBuに格納し(ステップS7)、#コードをバッファBuに格納(受信)したか否かを判断する(ステップS8)。その結果、#コードを受信していないときは、ステップS7に戻って受信データのバッファBuへの格納処理を継続する。

一方、#コードを受信したときは、バッファBu内の#コードより前のデータ、すなわち、自己のIDをEEPROM3に書き込み、バッファBu内のデータをクリアする(ステップS9)。

そして、次に伝送されたチェックディジット、及び#コードをバッファBuに格納し、#コードを格納することによりデータ受信終了を通知して、

チェックディジットに基づいて、EEPROM3に書き込んだ電話番号、IDの伝送エラーをチェックする(ステップS10)。その結果、正常であれば、そのままステップS1に戻り、伝送エラーが生じておれば、着し中LED7を点灯してその旨を通知して(ステップS12)、ステップS1に戻る。なお、着し中LED7が点灯され、伝送エラーの発生が通知されたときは、電話機C2により、再送信を要求すれば良い。

このように、顧客側に設置された伝送装置C1には、ハイヤー会社側の任意の電話番号から送信された電話番号、IDがプリセットされる。次に、顧客側の伝送装置C1により、ハイヤー会社の電話機A2をコールする処理を第6図を参照しながら説明する。

伝送装置C1に接続された電話機C2の送受回路C2aをフックオフして(ステップS21)、アンサートーンが無ければ送受回路C2aをフックオンして(ステップS22、S23)、ステップS21に戻り、再度、フックオフする。アンサ

特開平2-207645(5)

ートーンが有れば、伝送装置C1の発信キーK1を操作する(ステップS24)。

そうすると、伝送装置C1のCPU2は、発信中LED7を点灯し、話し中LED8を消灯する(ステップS25)。次に、EEPROM3にプリセットされたハイヤー会社の電話番号を读出して、PB発信部5、或いはDP発信部6にてデータ交換させて、制御部1を介して送信させることにより自動ダイヤリングさせる(ステップS26)。そして、相手(ハイヤー会社)が話し中か否かを判断し(ステップS27)、話し中でなければ、EEPROM3にプリセットされたID equal を读出して、PB発信部5、或いはDP発信部6にてデータ交換させて、制御部1を介して送信させる(ステップS28)。そして、発信中LED7、及び話し中LED8を消灯する(ステップS29)。そして、ハイヤーの台数等を送受器C2aを介して告げて(ステップS30)、送受器C2aをフックオンして(ステップS31)、終了する。

解除し(ステップS37)、ステップS31に進む。

このように、ハイヤー会社側から、ハイヤー会社の電話番号と、自己のID equal がプリセットされた後は、発信キーK1をワンタッチ操作するだけで、ハイヤー会社の電話番号と、自己のID equal を送信することができる。

なお、この発明は、上述の実施例に限定されることなく、例えば、伝送装置を電話機と直接接続せず、単独で設置することも可能である。

#### 【発明の効果】

この発明によれば、所定の通話装置をワンタッチ操作でコールできる専用の伝送装置を実現でき、かつ、この伝送装置に、コールされる側からのデータ伝送により自己の電話番号と顧客の識別番号をプリセットできる。従って、顧客(伝送装置が設置される側)にとっては、ワンタッチでコールするために、ダイヤルメモリ機能を有する電話機を購入了り、電話番号のプリセットを行う必要

ステップS27にて、相手が話し中であると判断されたときは、ステップS32に進んで、自動ダイヤリングを3回行なったか否かを判断する。その結果、3回行っていないときは、発信中LED7を消灯し、話し中LED8を点灯する(ステップS33)。そして、フックオフ中か否かを判断し(ステップS34)、フックオフ中、すなわち、送受器C2aが取上げられているときは、前回の自動ダイヤリングから20秒経過したか否かを判断する(ステップS35)。その結果、20秒経過したときは、ステップS25に戻るにより、再度、自動ダイヤリングする。

20秒経過していないときは、ステップS34に戻って、フックオフ中か否かを判断する。

このステップS34にて、フックオンであり、送受器C2aがフックされたと判断されたときは、発信中LED7、及び話し中LED8を点灯して(ステップS36)、終了する。

ステップS32にて、自動ダイヤリングを、既に3回行なったと判断されたときは、通話接続を

がなくなり、経費削減を図り、手間を省くことができる。一方、ハイヤー会社(上記所定の通話装置の所有者：コールされる側)にとっては、自社の電話機をワンタッチ操作でコールできる専用の伝送装置を顧客側に設置することにより、自社を専ら利用するよう仕向け、顧客獲得を図ることができ、かつ、自社側からのデータ伝送によって自社の電話番号と顧客の識別番号をプリセットできるので、データ内容(ID equal)の異なるROMを複数作製する必要がなくなり、設置の際の手間が省ける。しかも、ハイヤー会社では上記識別番号により顧客を特定でき、例えば、予め用意した識別番号の資料などに基づいて通話などを増設できるので、顧客に通話などを易くなくとも済み、時間の節約および顧客に対するサービスの向上が図れる。

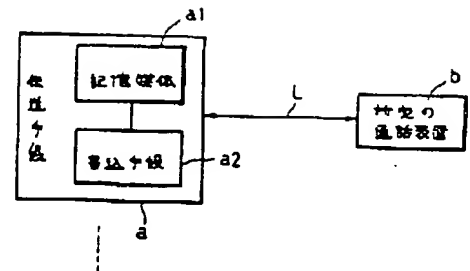
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の機能ブロック図、第2図は実施例のシステム構成図、第3図は伝送装置のブ

特開平2-207645(6)

ロック構成図、第4図はデータプリセット時のシステム構成図、第5図はデータプリセット時の伝送装置の動作を示すフローチャート、第6図はデータ送信時の伝送装置の動作を示すフローチャートである。

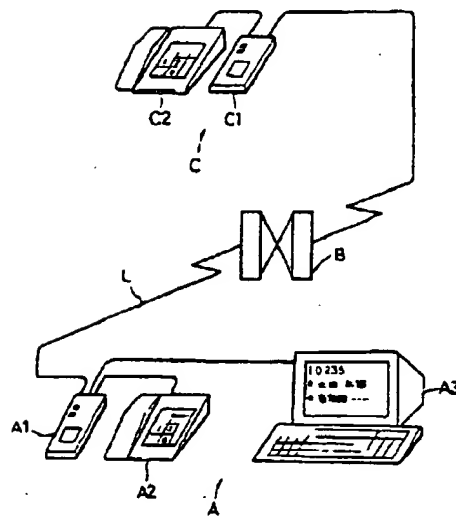
2…CPU、3…EEPROM、A2…電話機  
A2a…電話機、C1…伝送装置、K1…発信キー、K2…データセットキー。



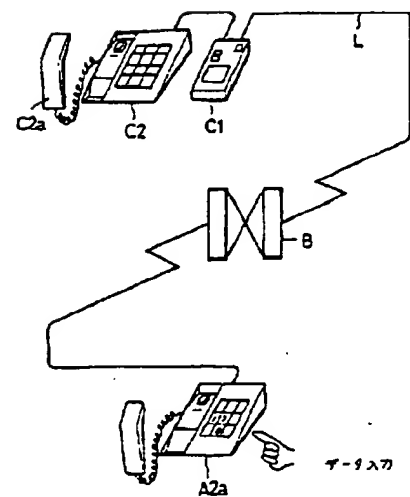
第 1 図

特許出願人 カシオ計算機株式会社

代理人 町田 俊 正  
町田 俊 正  
印 設 局

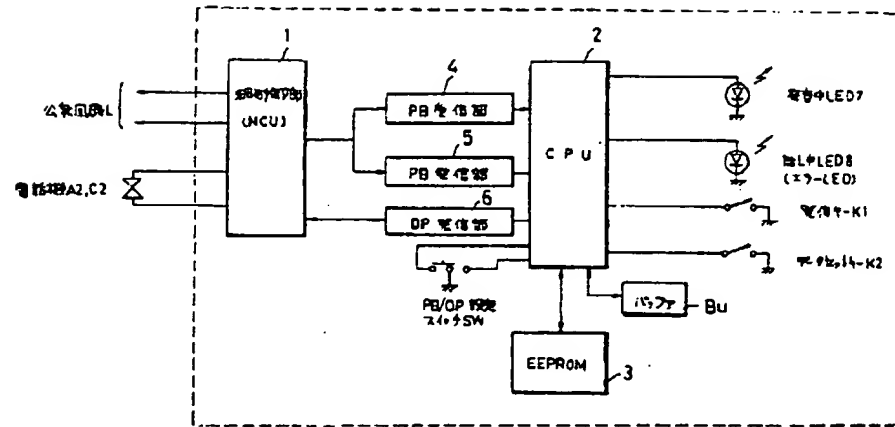


第 2 図

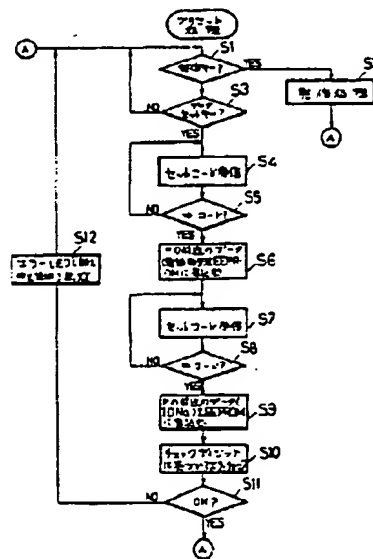


第 4 図

特開平2-207645(7)



第 3 図



第 5 図

特開平2-207645(8)

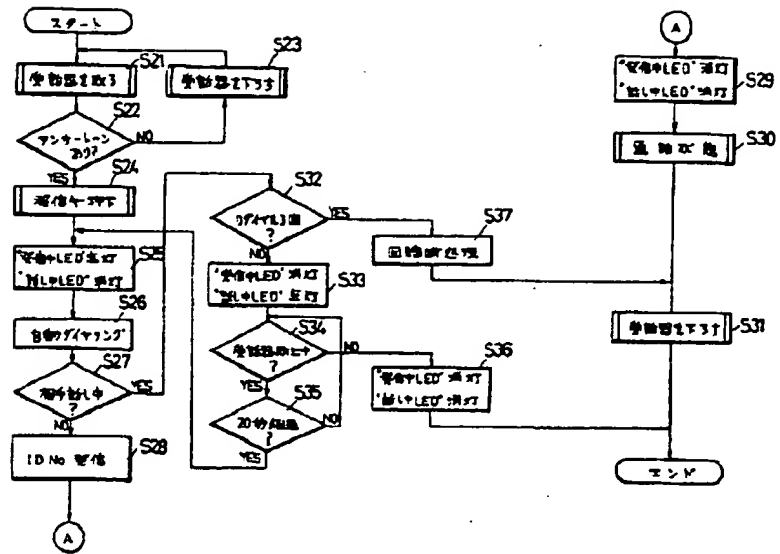


図 6

【公開番号】特開平2-207845  
 【公開日】平成2年（1990）8月17日  
 【年通号数】公開特許公報2-2077  
 【出願番号】特願平1-28418  
 【国際特許分類第6版】  
 H04 1/276  
 【F I】  
 H04 1/276 7190-5G

手腕補正器

中華民國二十二年二月七日

中國共產黨 綱領 第一章

1. 事件の由  
平成11年4月既報38919号
2. 発端の経緯  
既報既報
3. 結末とする事  
事件との関係 既報既報  
信用 成金(既報既報既報3753919号)  
名称 (164) カシオ計算機株式会社  
代表者 佐 藤 昌 雄
4. 代理人  
住 所 東京都千代田区千代田1-7-11 1504号  
〒530-0100  
電話 03(3681)8288  
氏名 伊藤(7495) 佐 藤 次 郎
5. 筆頭の所属  
既報既報、既報既報既報。

## 6. 討論

- (1) 角張の住所を「通町南」に指定する。
- (2) 明徳寺の「興行禁止の條目」の記載を角張の通り帳とする。
- (3) 明徳寺の西と東の門は丹波屋敷の門に閉鎖する。
- (4) 明徳寺の第4門路14坪より第5門路5坪間の下駄の通り道を作る。

2

この発明の課題は、可変長の通信回路をワンタッチ操作でコールして接続でき、また、相手側の通話状態の電線時々と自分の通話表明とを自動的にブリーフできるようにすることである。

【問題を解決するための手順】

この見解の予後結果の通りである。

受領手帳は、上記相手側の通帳振替から通帳別部を介して振  
込まれ、通帳別部を全額する。

記録手段は、上記受信手段で受信された上記無線信号を上記  
符号情報の送信装置の電磁符号と対比つけて記録する。

弘法が自ら撰じた、上記説書中に記述された資料等を基に  
点して、これらから出した資料番号により上記説書図解を介して  
と上記平面的な図解等をコーして書簡し、この際、上記資料  
出した説書番号に対して記述されていた上記説書等を上記  
説書等の説書図解へ記述する。

[३२]

この幾何の多量の年月は次の通りである。

用予の成否は自説と他説を論じて正誤とある点で重要であつて、上記用予の油断を論ずる第四項を介して位置された結果、その成否次第によって正誤とされると、その位置はつては正確な考が上記用予の誤謬の電報号とあつたては正確な考に依るもの、また、低價用予理によつて、上記用予後に位置された電報号が読み直されて、この読み直された電報号により上記用予を介して上記用予の電報番号がコールされて正確な考、この後、上記用予の電報号に列せられて位置されていた上記用予と上記用予の電報番号が読み直されて、

自って、相手先の連絡先をワンタッチ操作でコールして通話することができ、また、相手先の通話履歴の電話番号と自己の通話履歴とを自動的にアライメントすることとなる。

【註】明治編の第7頁第7行目の「第2部ないし第8部」を「第3部ないし第5部」と誤記する。

(6) 根据《中华人民共和国著作权法》第17条规定，著作权人享有署名权、发表权、复制权、发行权、出租权、展览权、表演权、放映权、广播权、信息网络传播权、摄制权、改编权、翻译权、汇编权等权利。因此，原告作为著作权人，有权要求被告停止侵权、赔偿损失。

(1) 明細表の第7頁第13行目の「第3回」を「第1回」と修正する。

(1) 明細表の第9頁第4行目の「第3回」を「第2回」と修正する。

ずが受けける。しかも、ハイカー会社側では電話番号により顧客を特定でき、例えば、予約用意した遊園地等と対応する資料に基づいて遊園地などを指定できるので、顧客に迷惑などを生じなくとも済み、両者の関係および顧客に対するサービスの向上が図れる。

（14）唯唱曲の調は其常し「行目乃高調しり調曲り行目に  
「4、番曲の調事な調曲一である。」とあるのを「調の通り  
調事」とも。

**E**

#### 4. 星房の電卓の説明

第1図はこの見地の定置時のシステム概観図、第2図は試掘開始時のプロット概観図、第3図はデータプロット時のシステム概観図、第4図はデータプロット時の試掘位置の案内をそのフリーチャート、第5図はデータ選別時の応答装置の動作を示すフローチャートである。

(15) 区画全部で利権の取り直しする。

(1) 唱題會の第11頁目を呼ぶの「第4回はいし第5回」と「第3回はいし第5回」と修正する。

(10) 初編卷の第11頁第9行目～第13行目の「第4期」を「第3期」と修正する。

(11) 和國製の物 12 頁 4 行目の「第 5 節」を「第 4 節」と修正する。

(12) 昭和四年4月23日4行目の「第5回」を「第5回」と修正する。

(13) 明細書の第17頁第11行目乃至第18頁第18行目と下段を誤り修正する。

32

【编辑的编辑】

この角解によれば、有線電話通話機用の電話番号と携帯電話の通話番号から選定されてきた通話番号とを自動的にプリアセットすることである。また、プリアセットされた通話機の通話機用の電話番号と通話番号とを用いて携帯電話の通話機用ワンタッチ操作でコールして通話することである。従って、通話機は電話番号のプリアセットを行う必要がなくなり、非常に簡単である。一方ハイパー会社にとっては、自社の通話機用ワンタッチ操作でコールして通話できる月の通話機用通話機用に設置することにより、ひとを専ら利用するよう仕向ける。かつ、自社の自社のデータ通話によって通話の通話番号と対応づけて通話の通話番号とをプリアセットできるので、プリアセットする月の

\*\*\*\*\*

●日本銀行の通貨政策と通貨調節を介して調節される通貨政策下

と昭和手帳の巻頭紙面から通産院を介して印刷された通産院  
手帳と関係する昭和手帳と。

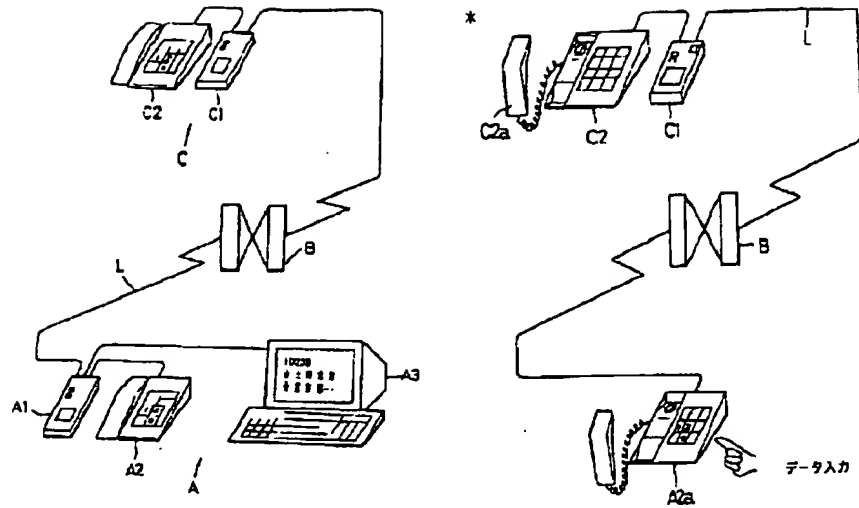
この費用で賄て支払われた。上記増収益等と上記損失等の差  
損益等の増減額等とあるついでに減額するに決する。

よ、足利氏や豊臣氏に足成りした戦国武将を招き入れて、この戦力  
増しと戦国武将をよりと足利氏側を介してよ足利氏側の足利  
氏と二ノタテに戦国し、この戦、よ足利氏に勝つと足利氏  
に勝つと足利氏に勝つと足利氏に勝つと足利氏に勝つと足利氏  
へのさる戦国武将をよ、

●買主にとりも弊害とすし通商阻害。

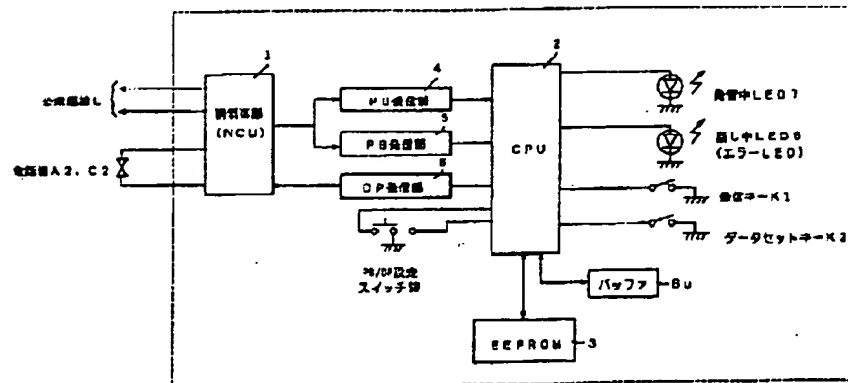
五

特開平2-207645



第 1 回

**3** **120**



第 2 回

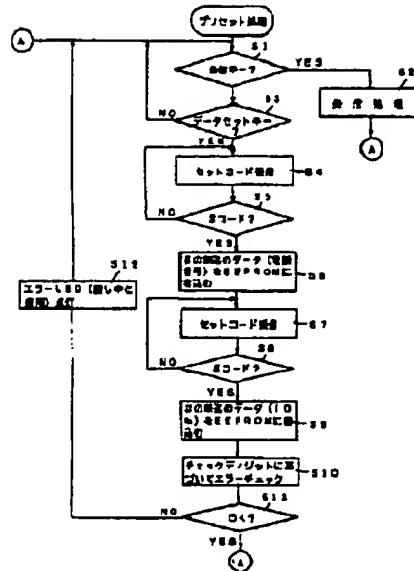


図 4

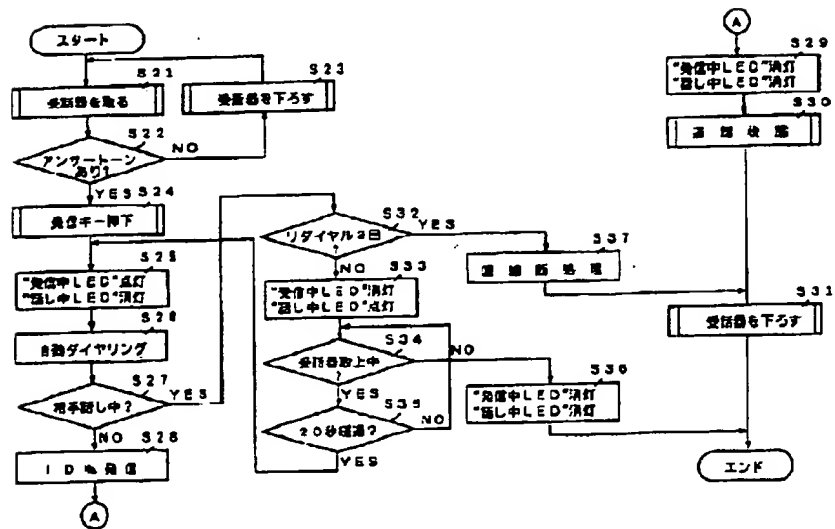


図 5

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**